

2011(平成23)年度 塾長賞・塾長奨励賞

塾長賞・塾長奨励賞は、学術・芸術・社会活動・文化活動などの各分野において、学生の範となる活躍をした塾生を表彰するものである。
2011(平成23)年度は、塾長奨励賞に2件2名が選ばれ、3月の卒業式において表彰された。

塾長賞・塾長奨励賞について

塾長賞審査委員会委員長 学生総合センター長・文学部教授

伊東裕司いとうゆうじ



慶應義塾では、正課の学業のみではなく、体育活動、芸術・文化活動、社会活動などの幅広い活動を通して幅広い人間を育てるという教育理念に基づき、課外活動を推奨してきており、毎年多くの塾生諸君が課外活動において際立った成果を上げる活躍をしています。このような活動を顕彰するために、慶應義塾ではいくつかの賞を設け、優れた成果を上げた課外活動を表彰しています。それらの賞の中で、体育活動以外の課外活動を対象とするものが、塾長賞・塾長奨励賞です。学術・芸術・社会活動・文化活動などにおいて学生の範となる活躍をし、「当人の荣誉であるばかりでなく、慶應義塾の存在自体の光輝となる」塾生(大学生・大学院生)を表彰するものです。2011(平成23)年度は、10件の推薦が得られ、慎重な選考の結果、2件2名の塾生が塾長

奨励賞の荣誉に輝きました。表彰は、去る3月23日に行われた2011(平成23)年度卒業式においてなされ、清家篤塾長から受賞者の代表に表彰状が手渡されました。今回の塾長賞は該当なし、という結果になったことは残念ですが、今後の塾生諸君の健闘に期待したいと思います。私は、塾長賞・塾長奨励賞の選考に長く関わっていますが、いつも塾生諸君がさまざまな領域で素晴らしい活躍をされていることに感心するとともに喜びを感じています。自分の専門とする領域の勉強のみではなく、それ以外の活動にも力を入れ、優れた成果を上げることが、人間としての幅を大きく広げ、これからの人生をより豊かなものにするでしょう。受賞者に続いて、多くの塾生諸君がさまざまな領域で活躍をされることを期待いたします。

熟長賞

該当なし

熟長奨励賞

■日本漢字能力検定1級に、31回連続で合格

経済学部4年 笠間鏡代君 かさま かがみよ



日本漢字能力検定1級に、2001（平成13）年度第2回〜2011（平成23）年度第2回までの31回連続合格した。漢字能力検定は歴史ある検定試験であり、また受検者数も多く難易度も高い検定試験（1級）といえる。その検定に13歳という年齢で合格しただけでなく、31回連続合格したことは、安定した能力であることの証明とも判断できる。近年の学生の漢字離れといった背景の中、同君は漢字に精通しており、日本の漢字文化の伝承に寄与できる能力を有しており、慶應義塾の誇りとするとところである。

■「第35回全国学生書写書道展 席書の部 大学生の部」学年優勝杯受賞

看護医療学部2年 小林優一君 こばやし ゆういち



一般社団法人全国書写書道教育振興会主催の「第35回全国学生書写書道展 席書の部 大学生の部」において学年優勝杯（日本一）を受賞した。同君は幼少より書道をたしなんでおり、結果、応募総数9721点（うち、同君が該当する部門・学年は50点）という規模の大会での受賞である。さまざまな団体が存在する分野ではあるものの、大学生の部において優勝をしたことは高く評価でき、慶應義塾の誇りとするとところである。

※学年はいずれも受賞時